学校法人 東江寺学園 東江幼稚園 2022年度(R4年度) 学校自己点検•評価

仏教保育

お釈迦様の教え、仏教の教えに基づいて、人として成長する場。

子も親も職員も「みんな楽しい幼稚園」。一緒に育ち合う集団。

教育目標

「からだ育て 即 こころ育て」「自然から学ぶ」「人との関わりの中で育つ」

- •自然とのふれあいなど直接体験を大切にし、命の尊さを知る。~命あるものの原則に従って~
- ・人との関わりを通して社会性を育てる。〜縦割り保育の中で〜
- ・生活リズムを整え基本的な生活習慣を身につける。
- ・手足を十分に使って「身体育て 即 こころ育て」。

| 保育活動 | 評価項目 | 具体的な取り組み |
|------|----------|--|
| | 遊びを通して | 子供が思いきり楽しく遊べる場を保証し、あそびを通して自然にからだも心も育っていく幼稚 |
| | からだと心の育ち | 園を実現していく為、時間が掛かっても、たとえ見た目の悪さがあっても、子供が自分の力で |
| | につなげていく | 取り組む過程を大切に見守っていく。 |
| | 幼児の発達を | 生活の中では、子供たちが実際に自分たちの手で行う事や実体験を大事にしている。 |
| | 捉え、園の特色を | 礼拝でマッチを使い灯りをつける・雑巾や箒を使っての掃除・包丁や金槌等道具を日常的に |
| | ふまえた指導計 | 使う習慣の中で、子供たちは身体経験を様々に繰り返している。 |
| | 画の立案・実践 | また、田んぼでの田植えや稲刈り・畑での野菜栽培、それらを調理し、食べる事・動物の飼 |
| | | 育・自分で雑巾を縫う・薪割りや火熾し等も積極的に保育に取り入れている。夏の水遊びの |
| | | 為、ふんだんに使える井戸水・思うままに掘り、積み、扱える土の園庭・冬のたき火コーナー |
| | | 等、子供が自分から自由に関われる水・土・火等の環境も、子供の学びの機会を支えてい |
| | | వ . |
| | | 日々の保育ではコーナー保育の場を設けることもある。設定活動やクラスの枠にとらわ |
| | | れず、子供が好きな遊び〜コーナー〜を選択してじっくり遊べる事・他クラスの先生や友達と |
| | | の交流・発見や遊びの広がり・刺激となる機会となる事を意識している。 |
| | | 今年度も新型コロナウイルスの感染予防対策の為、より衛生に配慮した環境作りを心掛 |
| | | けた。 |

| 子育て支 | 未就園児親子に | ・「たんぽぽのへや」満1歳の親子対象。希望者が参加。全 14 回実施。 |
|------|---------|--------------------------------------|
| 援活動 | 対する支援 | →安心して遊べる場の提供・子育ての悩み相談 |
| | | ・「ひよこ組」 2~3歳の親子対象。週に1回実施。 |
| | | →一クラス10人前後。設定活動・おやつ・絵本の読み聞かせ等を一緒に行う。 |
| | | ・「きのこクラブ」 2~3歳の親子対象。 |
| | | →親子ふれあい遊び・絵本の読み聞かせ・希望者のみ個別の子育て相談を実施。 |
| | | |
| | 在園の保護者に | ・「子育て勉強会」希望者が参加 全9回 |
| | 対する支援 | →子育てに対する悩みを共有・相談できる場 |
| | | |

| | |
|---------|------------------------|
| | |
| | |
| 者に対する支援 | →子育てについて、参加者で考え相談できる場。 |
| 卒業生の保護 | ・「親の寺子屋勉強会」希望者が参加。 |

| 保護者▪ | 近隣小学校や | ・今年度は東金町小学校との交流を年に2回。二葉幼稚園との交流を年1回対面方式で行っ |
|------|---------|---|
| 地域との | 他園との交流 | た。 |
| 連携 | 卒業生の受け | ・卒業生(小学生)対象の「おにぎりクラブ」を年5回開催。おにぎりクラブ中で、中学生ボランテ |
| | 入れ | ィアの受け入れも行っている。 |
| | | 縦割りグループにわかれて、竈炊爨を行っている。 |
| | | ・卒業生(小学生)対象 「お兄さん・お姉さん先生」と称し、休校の日に保育に参加 |
| | | ・中学生職場体験受け入れ(卒業生対象)・・・今年度は行っていない |
| | 保護者との連携 | ・月に1度 クラスごとに保護者会を行い、クラスの様子や連絡事項を伝える。または懇談する。 |
| | | →今年度は従来の形で4クラス一斉に行った。大人数・長時間の集まりを避ける・マスク着用・ |
| | | 換気・二酸化炭素測定器の設置・手洗い・消毒の呼びかけ等は引き続き実施。 |
| | | ・家庭訪問(4 月)・・・・今年度は個人面談に切り替え |
| | | ・夏の個人面談(夏・秋)を通じて個別に担任と話す時間を設け、子供の育ちや情報を共有。 |
| | | •「お父さん・お母さん先生」・・・年長児父母限定で一クラス一日一人の保育参加日を設け、 |
| | | 幼稚園生活の流れやクラスの様子・子供の姿を知ってもらう。 |
| | | ・保護者が運営するサークル・ボランティアがあり、保育に関する活動の応援・子供と一緒に取 |
| | | り組む活動をしている。 〜例:梅干し作り・味噌作り・折り紙・コーラス〜 |
| | | ・父親主催「おやじ組」による道具作りや夏祭り・行事への参加 |

| 研修会 | 園内外の研修 | ◇教職員園内研修/原則全員参加 |
|-----|---------|------------------------------|
| | に積極的に参 | ◇葛飾区研修/希望者のみ参加 |
| | 加し、資質の向 | ・「子どもの描画を読み取る」 2月15日 講師:大石幸二 |
| | 上を図る | ◇教職員園外研修/個人で参加 |
| | | |

| 施設設備 | 施設・設備の | ・おむつ交換台設置 |
|------|---------|-------------------|
| | 点検や補修∙改 | •温水シャワー設置 |
| | 修·管理 | ・大型遊具「入れたら出てくる」新設 |